

季刊わたぼうし

NO.97
'13秋

七尾市コミュニティバス
「ぐるっと7・西廻りコース」で巡る七尾の旅 2013 IV

今回の目次

※七尾市コミュニティバス「ぐるっと7・

西廻りコース」で巡る七尾の旅・2013 IV

- ・プロローグ(前置き) 2
- ・国道249号線、小丸山公園へ向かう歩道 3
- ・洋食・軽食・喫茶
「トップ1」で昼食、コーヒータイム 4
- ・小丸山保育園
チャイルドケアハウス小丸山との出会い 5

※「2012 脳性麻痺者の二次障害(頸椎症)」

について語ろう会 III 6

- ・脳性麻痺者の
二次障害(頸椎症)の体験談を募集 9

※第8回七尾市民健康福祉まつり 10

※第21回はくい福祉まつり 11

※第7回小丸山祭で「ぐるっと7・西廻り コースで巡る七尾の旅」を展示 12

あまちゃん

主題歌聞くとあま

元気です

千寿子



あまちゃん



この機関紙は障害のある人、ない人が自由に考えを出し合い、主義・主張を越えて、お互いを理解し合う中から共に生きる豊かな社会を作っていくことを目的として発行しています。

七尾市コミュニティバス

「ぐるっと7・西廻りコース」で巡る七尾の旅 2013 IV

○七尾市コミュニティバス「ぐるっと7・西廻りコース」を使い、七尾の名所散策・人との出会いを求めて。過去3年間で「ぐるっと7・西廻りコース」は青山彩光苑～恵寿総合病院を巡りました。今年は小丸山のバリアフリー状況を見て歩きます。

プロローグ(前置き)

七尾市コミュニティバス「ぐるっと7・西
廻りコース」は「2001年青山彩光苑障害者週
間」の企画で「七尾市に車いすで乗車できる
バス『まりん号』を彩光苑へ」を合い言葉に
運動、署名活動を行い、夢を実現させたもの
です。

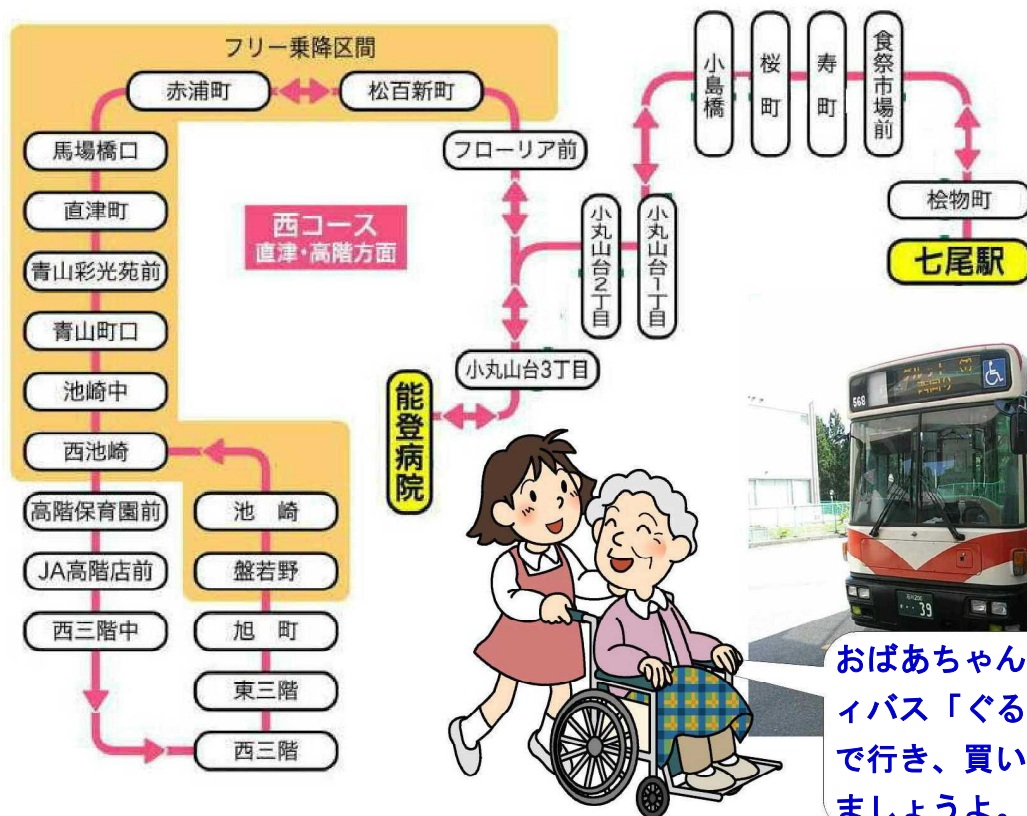
この署名活動は、車いす生活者だけではなく、高階・赤浦地区の住民や、小丸山小学校に通学する児童の足の確保のためにも皆が力を合わせ行いました。青山彩光苑の利用者・

職員・地域住民・地元選出の市議会議員などが参加し、武元前七尾市長に車いすが乗車できるコミュニティバス運行の陳情をしました。

その運動が実り、2002年11月より七尾駅から恵寿総合病院・公立能登総合病院・青山彩光苑を經由し高階地区を結び、車いす2台が乗車できるコミュニティバスの運行が開始されました。

今後、青山彩光苑～七尾駅の停留所を数年かけてデジカメで撮影し、観光やバリアフリー状況取材して報告したいと思います。

「ぐるっと7・西廻りコース」路線図(青山彩光苑～七尾駅)



おばあちゃん、私とコミュニティバス「ぐるっと7」で七尾まで行き、買い物や食事をして来ましょうよ。

国道249号線、小丸山公園へ向かう歩道



1



2

国道249号線(小丸山南交差点～小丸山交差点)の小丸山公園へ向かう歩道。道幅もあり、車いす・老人車の移動は可能。途中に車の出入りする坂があるため、注意が必要。



3

車が駐車場から車道に出るためです。



4

チャイルドケアハウス小丸山の入り口門

小丸山南交差点～チャイルドケアハウス小丸山前の区間は、歩道幅も広く、電動車いすもスムーズに進みました。③の歩道は広く、斜めになっています。理由は車両が駐車場から車道に出るためです。急に車が出てくる場合があるので気をつけて渡りましょう。

④⑤は「チャイルドケアハウス小丸山」前ですが、門の入り口が急な坂になっています。館長は「舗装時に、修繕してもらい改善されましたが、冬は雪だまりになって水がはねてしまう、歩行者は気をつけてほしい。」と話しておられました。



5

チャイルドケアハウス小丸山の入り口門

洋食・軽食・喫茶「トップ1」で昼食・コーヒータイム

オックス「あっぷる」の取材の後に昼食、コーヒータイムと思ったのですが、階段があり入店できませんでした。

ところがマスター、店員が外にテーブル、カレーライス、コーヒーを運んで来てくれ、野外で食事、喫茶を楽しませていただきました。



小丸山の取材が終わり、食事にしようかな。



「トップ1」自慢のカレーライス



取材後、野外で飲むコーヒーは美味しい。

店舗名：洋食屋「トップ1」(七尾市小丸山台)

店舗のバリアフリー状況

- | | |
|-----------|----|
| ・玄関入り口の段差 | あり |
| ・スロープ | なし |
| ・身障者トイレ | なし |

周囲を竹林で囲まれ、静かな環境で食事を楽しませて頂きました。机に使っている台は、前日に子供たちのキャンプで使って置いてあったものです。

例え、バリアがあっても、人の温かみを知り、つながりを持つことがバリアをなくし、障害者、高齢者が住みやすい地域になるのではと思います。



う～ん、階段があつて入れません。

小丸山保育園・チャイルドケアハウス小丸山の紹介



「小丸山保育園」「チャイルドケアハウス小丸山」との出会いのきっかけは？

当初、小丸山保育園の取材をしたいと思い、メールをしました。同じ法人のチャイルドケアハウス小丸山の館長から返事が届きました。そのため、ケアハウスの取材に切り替え、実際に介助者と訪問してバリアフリー状況について取材を行いました。

施設の紹介

地域の未就園児、転勤族の親子が七尾で楽しく子育てができるように、七尾の色々な子育て情報や育児支援が受けられます。

また、小学生を対象に放課後、児童クラブも運営しています。地域交流、遊び、学習など放課後を仲間と楽しく規則正しい生活の場として『第2の家庭』としての場の提供をしています。

また、チャイルドケアハウス小丸山と同じ系列の和倉での「サロンな・は・は」は高齢者や地域の方々との交流をしています。毎週土曜日にたのしい雰囲気、子育て中の親子、児童、地域の誰もが参加できます。10時～12時戸外に出かけることもあります。

総称して『ひなの学校』プログラムを展開しています。七尾に住む、いろいろの年齢層

が交り逢う、学び合う伝え合う、繋ぎ合う、尽くし合いましょうを、心に活動しています。

施設に行っていること、イベントは？

毎週、木曜日に七尾駅前「リボン通り」のいきいき交流館で、手作りのパンや手芸品など販売、お茶会やその都度、ワンポイントレッスンがあります。誰でも参加可。

施設のバリアフリー状況

- | | |
|-----------|----|
| ・玄関入り口の段差 | なし |
| ・スロープ | ある |
| ・身障者トイレ | ある |

子どもの施設なので、大人には小さいかも知れません。(トイレ)

～次号へ続く～

「2012 脳性麻痺者の二次障害(頸椎症)」について語ろう会 II

語ろう会企画の経緯

昨年の秋に頸椎症の手術をされた方より、手術後の痛みについて相談を受け、手術は痛みの解決だけではなく、手術後のリハビリ、頸椎症との付き合い方が大切だと感じ企画する。

目 的

手術後も痛みがあることを理解し、いかに痛みと上手に付き合っていくかを互いの体験から得ることが出来る場とする。

内 容

過去数年間に脳性麻痺の頸椎症の手術をされた方数人に集まって頂き、手術後の抱えている疑問、悩みを語り合う。

日 時：2012年10月17日(水)

14時～15時30分

場 所：青山彩光苑西館 多目的ホール

二次障害の座談会協力者

自立生活支援センター富山

理 事 長 平井 誠一氏

事務局長 浅木 裕美氏



以下、前号からの続き↓

F氏：ベッドから車いすに自分で移乗ができます。

浅木氏：ベッドから車いすへの移乗が自分で出来る？

平井氏：今立っているから足腰が強いですね。

浅木氏：リハビリの効果だと思いますか。

K氏：僕も自分なりにリハビリをやっている。右手だけ。だいたいこれ以上はやっても無理かなと思うのだけれど。もうちょっとリハビリして動かないと、今度指が曲がらなくなってくる。

浅木氏：そのあんばいが難しいですね。

平井氏：車に乗っていても手足の運動をやっていたり。やれることがあるのですよ。ちょっとしたことを。動かさないよりもちょっとでも動いていた方が良いのかなと。

K氏：だから、僕はアート教室で絵を描いたりしています。

浅木氏：Hさん。私、読めば良いですか。

「生まれた時は全然歩けなかった。金沢第一整肢学園に入って足の膝の裏の手術をしました。装具をつけて歩行器につかまって歩く練習をしました。少しずつ歩けるようになりました。歩くことが速くなり松葉杖を使って歩けるようになりました。何にもつかまらな

くても一人で歩いたり、走ったり何回でも転んだりしました。転んで背中や頭も何回でも打ったけれど痛みがなかったです。その時は若かったから何でも出来ました。35歳くらいから頸が痛くなり、左手の指先が痺れてきました。右手は今のところ力があるし痺れていません。でも足の方はあまり力がありません。43歳からは全然歩くことも、転んだら立ち上がることもできなくなりました。47歳の時に金沢大学病院で診てもらったら「今のところ薬で様子を見ましょう」と言われました。私はクーラーがずっとつけっぱなしの所にいると頭、頸、肩、背中、腰、左手足が痛くなり痺れてきて、また頭が痛くなり胸が悪くなり吐き気もします。頸の痛みがひどい時は湿布を貼ったりしています。これ以上痛みが出ないように私は温度調整をしています。寒いなと思ったらクーラーのあたらない所に行きます。去年の9月から一人暮らしを始めました。だから2時間おきにクーラーをつけたり、消したりしていますので、今のところあまり痛みが出ていません。今、訓練では頸、肩に電気を充てています。少しは楽になります。」ということです。

平井氏：電気充てて楽になりますか？そうならまだいいですね。悪い時は電気充てても全然効かなかった。

K氏：電気だと言うけど、あれは赤外線だぜ。

平井氏：歩いておられたのですね。

桶屋：うん、歩いていた。

H氏：歩けたからよけい足に来た。

浅木氏：何歳から歩けなくなったのですか。

H氏：全然歩けなくなったのは35、6です。

浅木氏：きっかけはどんな感じですか。

H氏：転んでたよ。毎回転んで。

浅木氏：足があがらないのですか。足が上がらなかつたりして転んだんですか。だから、今、あざがあるのですか。

H氏：何回も何回も繰り返していた。

浅木氏：Kさんは歩いていましたか。

K氏：いいえ。電動でなくて普通の車いすを利用していました。右手の力はあまりなかったもので、ボートを漕ぐような車いすを利用していたからこうなりました。

浅木氏：ああ、聞きたくない。

平井氏：結構、歩いていた人が頸椎症（2次障害）になる人が多いですね。

K氏：そうですね。

H氏：小さい頃は歩いていた。

浅木氏：走っていたりしていたのですか。私もしょっちゅう転んでいるのですよ。

H氏：何でも出来た。

K氏：あと何年後。

浅木氏：もうすぐです。

平井氏：最初はやはり痺れですよ。

K氏：そうですね。何というのかな。手に重りがついているのと同じ。

浅木氏：手のどの辺が痺れるのですか。

H氏：私の場合は指の先。

平井氏：僕は電気が通るようなビリッとした感じ。

K氏：僕も最初は電気が流れるような。

浅木氏：どこから流れているのですか。

K氏：僕は背中です。

浅木氏：平井さんは。

平井氏：手の先。ビリッと電気が来たような。

H氏：私は親指。今はこっちに来ている。

K氏：僕は左利きだから、左利きの人は右手の方が先に痺れていく。金大の先生が言っていたもの。

桶屋：ああ、僕にも来るな。

浅木氏：あーあ、ちょっとやだなあ。

平井氏：手術しなくて何とかなるのなら、それに越したことはない。

H氏：私、「まだ、手術しなくても良い」と言われて。

浅木氏：車いすに乗る決断をした時はどういう時。

H氏：足が力がなくなってきた、歩いていて股関節が痛くなってきて。ずっと立っていたら足が痛くなって動けなくなってくるのよ。

浅木氏：車いすに乗る前は歩行器とか杖とか使っていたのですか。

H氏：最初は独歩、それから歩行器の繰り返し。そしたら、だんだん足が弱ってきて。

平井氏：最近まで歩行器使っていたのですか。

H氏：うん。歩行器を使ったり車いす使ったりしていた。天気があまり良くないと体の調子が悪いです。

K氏：あんまり歩くなと。

H氏：うん。先生が「無理して歩いていけない」と言われて。

平井氏：なかなか難しくてね。無理してしまうところがあるよね。歩けていたから歩こうかとなるから。

H氏：今は全然伝え歩きも出来ないもの。何も出来なくなった。

桶屋：話が変わりますが、おしっこが出にくいのですが。

平井氏：おしっこはね。先生に聞いたら福井大学に専門の先生がいるそうです。福井大学に行った方が良いと言われましたよ。野村先生に。福井大学の先生が結構専門なんだって。脳性マヒと関係ないという話もあるけど。

浅木氏：桶屋さんは頭はたいしたことないの。

じゃあ福井大学の先生に診てもらったら。

平井氏：先生の名前忘れたな。また聞いておこうか。

浅木氏：4時になりましたので、終わりにしようか。

桶屋：ご苦労様でした。

浅木氏：こういう話はけっこう必要だわ。

K氏：こういう話はね。同じ障害者と話をするとドクターを入れて話をすると違うでしょ。

平井氏：違いますね。

桶屋：まだまだだ。またやらないといけないな。(終了)

編集者より

88号より連載してきました「脳性麻痺者の二次障害(頸椎症)」について語ろう会」を今回で終了します。

頸椎症は脳性麻痺者にとり、避けて通れない方が多くいます。早い方は成人過ぎから発症する人、50～60代に発症する人と個人差があります。頸、手足の痛みやしびれが出て、病院へ受診し、リハビリ、運動療法でも回復しないので手術を決断された方もいらっしゃると思います。

編集者も、頸椎症が原因で手足の痛みが出ています。特に右手が冷たくなり痛みが出ています。その対策として両足の短下肢、右手は指先から肘までの装具を装着して痛みを緩和しております。皆さんの痛み緩和対策を教えてくださいたいです。



脳性麻痺者の二次障害(頸椎症)の体験談を募集

- ・あなたの頸、手足の痛み、しびれはいかがですか。
- ・紙面で分かち合いませんか？

- ・痛みの発症から手術の決断までの思い。
- ・手術のへ不安。

- ・MRI撮影の不安
- ・手術後のリハビリ、痛み等
- ・手術後の生活への不安

- ・投稿方法はメール、郵送
- ・字数800～1200字程度
- ・募集期間
2013年12月～2014年3月末



原稿提出は

〒926-0831 七尾市青山町ろ部22番
青山彩光苑内 桶屋 善一
Eメール zen@san9.net

※紙面の掲載は、投稿者の許可を得てから行います。
個人情報「H S K季刊わたぼうし」の発送以外は使用しません。



第8回七尾市民健康福祉まつり

期日：2013年9月14日(土)

場所：J R七尾駅前 ミナ・クル正面

国際医療福祉専門学校七尾校のコーナー

パネルで学校での授業、実習の様子が紹介され、健康福祉まつりに参加されている方の健康チェック・体力測定・障害体験・脳トレ、救急救命科による人工呼吸の実演等が行われていました。



市内障害者支援施設による商品販売、ステージでは、コーラスなどの発表がありました。
七尾市のゆるキャラ「わくたまくん」「とうはくん」も来場者の和に入り、握手などを行って交流していました。



「ぐるっと7・西廻りコースで行く七尾の旅」を展示 =ミナ・クル内=



第21回 はくい福祉まつり

期日：2013年10月6日(日)

場所：すこやかセンター・羽咋体育館周辺



和倉温泉のゆるキャラ「わくたまくん」 ・能登ふるさと博キャラクター「のとドン」 ・金沢星稜大学のゆるキャラ「エコミちゃん&ヒューマくん」 ・能登野菜応援キャラクター「みこみこ」



七尾市に引き続き、羽咋市においても恒例のはくい福祉まつりが、今年改築された羽咋すこやかセンター、県羽咋体育館周辺でゆるキャラたちを迎えて行われました。

ボランティアとして市内の高校生、金沢星稜大学、石川県立看護大学の学生が参加して賑やかに行われていました。①「はくい車いす友の会“ゆうゆう”」 ②点字体験コーナー ③野外でフリーマーケット。



第7回小丸山祭で 「ぐるっと7で巡る七尾の旅」を展示 ～国際医療福祉専門学校七尾校の文化祭～

10月27日(日) 国際医療福祉専門学校七尾校の文化祭で、「ぐるっと7で巡る七尾の旅」を展示し、生徒・職員・地元の方と交流しました。



専門学校の正面玄関に設置されているスロープ。



「ぐるっと7で巡る七尾の旅」を展示

年間協力会員募集中

この機関紙は障害のある人、ない人がそれぞれの考えを出し合う中から、互いに理解を深め、共に生きる豊かな社会づくりを目的として、有志により発行しています。

つきましては、主旨に賛同して協力会員になっていただく方を募集しています。

この会費で、在宅障害者や福祉関係機関等に送付していますので、機関紙一部の料金ではなく、年間協力会費として扱っています。

年間協力会費：2,000円

会費振込先：郵便振替口座

振込先名義：わたぼうし連絡会

00750-6-9791

送

付：春、夏、秋、冬

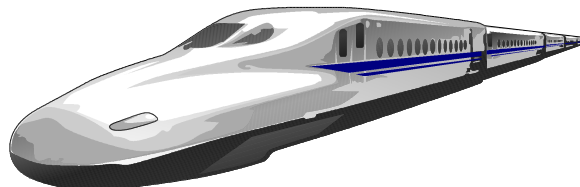
編集後記

読者の皆さん、秋も深まり冬の足音が聞こえ始めましたが、いかがでしょうか。

今年の天候は異常気象による猛暑、各地でゲリラ豪雨の多い年でした。特に伊豆大島を襲った台風26号による土砂災害で多くの方が行方不明、亡くなった報道を見ていると怖さを感じます。どこで起こるかわからない異常気象なので不安ですね。亡くなられた方々に心からご冥福をお祈りします。

9月10日(日)の早朝、2020年のオリンピック、パラリンピックの開催地が決定する瞬間をテレビで見えていました。東京に決定した瞬間は喜びで感動。昭和39年の東京オリンピックは、小学生でした。金沢市平和町の石川整肢学園にいたとき白黒テレビで見えていた記憶があります。あれから56年後に開催される2度目の東京オリンピック、パラリンピックが「元気で見られると良いなあ」と思っています。健康に気をつけて長生きしましょう。

2015年の春に北陸新幹線も金沢開業。新幹線で東京オリンピック、パラリンピック観戦に出かけるのも夢ではないですね。(Z.O)



編集及び連絡先

「HSK季刊わたぼうし」の事務局は個人宅なので、ホームページでは公開できません。

連絡は下記のメールでお願いします。

ホームページ

HSK季刊わたぼうし

検索

<http://jiritsusien.com/>

Eメール：zen@san9.net

H S K 毎月十二回(一・三・五・八・十・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日)発行
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

定価二〇〇円